

令和5年度事業報告

令和5年度において実施した協会運営及び協会事業について、次のとおり報告いたします。

1 協会の運営状況

(1) 会員の状況

令和6年3月31日現在の会員数は536社（うち正会員478社、賛助会員58社）です。令和5年4月1日以降、20社（正会員12社、賛助会員8社）が加入し、17社（正会員10社、賛助会員7社）が退会し、令和5年度は3社の増となっています。

(2) 総会、理事会等の開催

ア 総会

ホテルレイクビュー水戸において第11回定時総会を開催し、令和4年度の事業報告及び収支決算、役員の変更について審議し、原案どおり承認されました。また、令和5年度の事業計画及び収支予算について報告されました（5月26日、議決権を行使した正会員371社、うち出席した正会員81社、書面議決書提出正会員272社、委任状提出正会員18社）。

また、定時総会終了後に廃棄物適正処理懇談会を開催しました（出席者154名）。

イ 理事会、正副会長会議の開催

(ア) 理事会

8回開催し、入会の承認、第11回定時総会の議案、いばらき自民党への県政要望、各業務委員会及び部会における事業計画及び報告、環境大臣表彰及び県表彰の推薦、新春賀詞交歓会、補正予算等の議題を審議しました（4月25日、5月26日、6月15日、8月3日、10月12日、12月7日、1月30日、3月14日）。

(イ) 正副会長会議

8回開催し、理事会に提案・審議する事項、委員会での審議事項、協会の運営に係る事項等の協議・検討を行いました（4月25日、6月15日、7月24日、8月3日、10月12日、12月7日、2月27日、3月14日）。

(3) 委員会等の開催

ア 総務企画委員会

委員会を3回開催し、事業報告及び収支状況報告、令和5年度補正予算、令和6年度事業計画及び収支予算案、不法投棄廃棄物ボランティア事業、繰越収支差額の会計処理、令和6年新春賀詞交歓会、令和6年度協会表彰、全産連表彰者の推薦等について協議・検討を行い、理事会に上程しました（7月24日、11月13日、2月27日）。

イ 適正処理委員会

県央支部との共催により、茨城県県民生活環境部の職員を迎え、地域の廃棄物の現状と行政側の対応に関する研修会・親睦会を開催しました（2月10日）。

ウ 研修厚生委員会

委員会を4回開催し、第23回親睦チャリティゴルフコンペ、県外視察研修会について協議・検討を行い、理事会に上程しました（6月26日、8月7日、9月7日、2月19日）。

また、第23回親睦チャリティゴルフコンペを開催し、会員の親睦を深めました（9月21日、参加者78名）。集まった寄付金は茨城県災害ボランティア活動支援基金に寄付しました（贈呈式10月26日）。

福岡県内において研修会を実施し、産業用ロボットの活用について学びました（株式会社安川電機、10月13日～15日、参加者24名）。

エ 広報調査研究委員会

委員会を開催し、令和5年度の事業計画を策定して理事会に上程しました（7月4日）。

事業計画に基づき「資源循環いばらき」を2回（7月、3月）に発行しました。また、協会ニュースを10回発行し、メールアドレスを登録した会員には電子メールでの配信を15回行い、会員への情報提供に努めました。

会員名簿を発行しました。

オ 安全衛生委員会

委員会を開催し、事業計画を策定して理事会に上程しました（7月4日）。

労働安全衛生規程の意義と策定方法についての研修会を実施しました（11月14日）。

また、安全衛生啓発ポスターを作成し、配布しました（12月配布）。

カ 災害廃棄物対応委員会

委員会を1回開催し、取手市水害に係る災害廃棄物処理の方針を検討しました（6月9日）。

キ 再生砕石専門部会

総会を開催し、事業報告、事業計画、運営委員の改選等について審議、報告を行いました（12月12日）。

運営委員会を2回開催し、令和5年度の事業計画を策定して理事会に報告しました（7月14日、9月19日）。

また、部会員に対するアンケート調査を実施し、その結果をふまえ、茨城県土木部及び茨城県建設技術管理センターとの意見交換会を開催しました（12月12日）。

ク 中間処理専門部会

委員会を1回開催し、専門部会の今後の進め方について協議・検討を行いました（4月28日）。

前年度から引き続き部会員の募集を行い、アンケート調査を実施して課題の整理を行いました。

総会を開催し、部会長及び副部会長の改選、運営委員の選任等を行ったほか（6月22日）、運営委員会を1回開催し、令和5年度の事業計画を策定して理事会に報告しました（8月1日）。

また、茨城県県民生活環境部の職員を講師に迎え、産業廃棄物処理施設立入検査に係る講演会を開催しました（2月2日）。

中間処理に係る情報の提供を随時実施したほか、次の行事を実施しました。

- ・講演会（「リサイクル業界に押し寄せる課題と未来の姿」）
（6月22日）
- ・講演会（「産廃DXとChatGPTの活用方法」）
（8月1日）

（4）青年部会

第10回通常総会を開催しました（5月19日）。

幹事会を4回開催し、勉強会・研修交流会について協議・検討を行いました（4月20日、5月19日、6月22日、8月24日）。

また、これに基づき、次の行事を提案・実施しました。

- ・関東ブロック総会及び20周年記念式典
（6月9日）
- ・青年部会員の会社訪問「黒沢産業株式会社」
（6月13日）
- ・栃木県青年部会の環境学習会見学
（7月14日）
- ・水戸ホーリーホック環境ボランティア活動
（7月23日）
- ・関東ブロックDXセミナー
（8月10日）
- ・U-15全国バスケットボール大会CSR活動
（8月15～17日）
- ・青年部会交流「パークゴルフとBBQ交流会」
（9月23日）
- ・テーブルマナー研修会
（10月19日）
- ・山形県産業資源循環協会青年部会との交流会
（10月26日）
- ・全国産業資源循環連合会青年部協議会第12回全国大会
（10月27日）

- ・ 関東ブロック青年部会役員との交流会 (11月2日)
- ・ 名刺管理を活用したDXセミナー (11月14日)
- ・ 県内中間処理場視察研修会・意見交換会 (11月25日)
- ・ 関東ブロック交流会 (神奈川県) (1月18日)
- ・ 関東ブロック新春講演会・賀詞交歓会 (2月16日)
- ・ 関東ブロック労務セミナー いますぐ取り組むべき「時間管理・給与改革・DX推進」 (3月14日)
- ・ 大学野球合同ボランティア事業 (3月23日)
- ・ お子様向け環境学習事業 (3月27日)

2 協会事業の実施状況

(1) 調査研究事業

全産連等が実施した産業廃棄物処理業に係る各種調査に協力、実施しました。

(2) 研修講習事業

ア 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが実施する講習会について会場運営を行いました。

- ・ 新規講習会 (産業廃棄物収集・運搬課程) 5回 242名
- ・ 新規講習会 (産業廃棄物処分課程) 1回 49名
- ・ 更新講習会 (産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集・運搬課程) 9回 430名
- ・ 更新講習会 (産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処分課程) 1回 21名
- ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 7回 335名

イ 茨城県産業廃棄物処理業者講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター及び茨城県県民生活環境部廃棄物規制課により、電子マニフェスト、廃棄物処理施設における技術管理者の役割、特別管理産業廃棄物の種類等に関する講習会を開催しました。

(1月23日、Web開催、参加者263名)

(3) 相談指導事業

ア 産業廃棄物処分事業所の紹介等

電話等による廃棄物処分方法等の相談に対して、収集運搬事業、中間処理事業及び最終処分事業に係る会員企業を紹介することにより、産業廃棄物の適正処理の推進を図りました。

イ 産業廃棄物処理業の許可取得に関する相談等

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業（収集運搬業、処分業）の許可取得や変更届などについて、電話や来所による会員企業からの相談に対応しました。

また、事務所内に県への申請窓口を開設し、予約を受け付けることにより、円滑な許可申請の促進に努めました。

ウ 産業廃棄物処理施設の設置等に関する相談

産業廃棄物処理施設の設置等に係る会員企業からの電話や来所による相談に対応しました。

(4) 交流事業

ア 行政機関との意見交換会の開催

協会の円滑な運営と事業の展開を図るため、茨城県及び水戸市の担当者との意見交換会を開催し、県の事業の説明を受けるとともに県政要望について説明し、意見交換を行いました（8月3日）。

イ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関連会議への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会が開催する次の会議に参加しました。

- ・第66回理事会 (5月23日、Web会議)
- ・第13回定時総会 (6月16日、東京都)
- ・女性部協議会第1回通常総会 (6月16日、東京都)
- ・第67回理事会 (7月11日、Web会議)
- ・第1回全国正会員事務局責任者会議 (8月24日、Web会議)
- ・第68回理事会 (10月11日、Web会議)
- ・第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会 (11月10日、東京都)
- ・第69回理事会 (1月12日、東京都)
- ・新年賀詞交歓会 (1月12日、東京都)
- ・第2回全国正会員事務局責任者会議 (2月16日、東京都)
- ・2024年度許可講習会における事務取扱説明会 (2月26日、Web開催)
- ・第70回理事会 (3月12日、Web会議)

ウ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関東地域協議会関連会議への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会関東地域協議会が開催する次の会議に参加しました。

- ・第2回災害廃棄物委員会 (4月10日、Web会議)

- ・ 第 7 0 回 関東地域協議会 (4 月 1 8 日、東京都)
- ・ 第 3 回 災害廃棄物委員会 (1 0 月 1 0 日、Web 会議)
- ・ 第 1 回 事務責任者会議 (1 0 月 1 9 日、Web 会議)
- ・ 第 2 8 回 関東地域協議会事務担当者会議 (1 1 月 1 ~ 2 日、千葉県)
- ・ 第 4 回 災害廃棄物委員会 (1 1 月 7 日、東京都)
- ・ 第 7 1 回 関東地域協議会 (1 1 月 1 6 日、千葉県)
- ・ 第 5 回 災害廃棄物委員会 (2 月 2 1 日、Web 会議)
- ・ 関東地域協議会女性部会のつどい「視察研修会・賀詞交歓会」
(3 月 1 5 日、県内)
- ・ 第 2 回 事務責任者会議 (3 月 1 9 日、Web 会議)

また、関東地域協議会を構成する 1 都 7 県の協会により「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定」を締結しました（調印式：6 月 3 0 日）。

エ 令和 6 年新春賀詞交歓会の開催

行政及び関係団体の方々や会員相互の交流を行うため、ホテルレイクビュー水戸において令和 6 年新春賀詞交歓会を開催しました（1 月 3 0 日、参加者 2 4 9 名）。

(5) 広報啓発事業

ア 協会ホームページ等による情報提供 <http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

国、県及び関連団体等から提供された情報や協会で開催した各行事等について、協会ホームページに掲載し、会員企業等に対して情報提供を行うとともに、「資源循環いばらき」を発行し、各種の情報を提供しました。また、ファックス、電子メールにより迅速かつ効果的な各種の情報提供を行いました。

イ 新聞の活用

当協会について広く県民に認知していただくため、茨城新聞や環境関係新聞に記事・広告を掲載し、協会の P R に努めました（掲載 8 回）。

ウ マニフェスト（産業廃棄物管理票）使用の普及促進

産業廃棄物排出事業者や建設系廃棄物の元請事業者などに 3 5 0, 4 0 0 セットのマニフェストを頒布し、あわせて小冊子「産業廃棄物管理票制度 マニフェストシステムがよくわかる本」を頒布し、その使用の普及促進に努めました。

(6) ボランティア U. D. 監視員制度運営事業（県委託事業）

ア 不法投棄監視パトロール実施状況等の運営管理

監視員 3 0 2 名が実施した不法投棄監視活動状況を集計管理し、県に報告し

ました。

イ 監視員登録証の更新手続き

協会監視員 98 名のうち 44 名の登録証の更新手続きを行いました。

ウ 不法投棄防止強調月間事業への参加

不法投棄防止強調月間に、ボランティア協会監視員が支部単位で不法投棄防止パトロールを実施しました。

エ 令和 5 年度茨城県ボランティア U. D. 監視員研修会の開催

茨城県庁舎講堂において、茨城県とともに茨城県ボランティア U. D. 監視員研修会を開催しました（12月22日、参加者 140 名）。

(7) 茨城県廃棄物再資源化指導センター事業（県委託事業）

ア 廃棄物の適正処理相談

廃棄物の適正処理に関する一般県民及び事業者の相談に対応しました。

イ ホームページによる情報提供

産業廃棄物のリサイクルに関する優良事業所の概要等について、ホームページ上に公開し、事業所や処理業者の方々の産業廃棄物の再資源化や有効利用についての情報を提供しました。

ウ 茨城県産業廃棄物適正処理指導啓発講習会の開催

排出事業者、処理業者を対象として、民間コンサルタントにより、廃棄物処理法の基礎と違反事例から考える排出事業者責任に関する講習会を開催しました（2月20日、Web 開催、参加者 147 名）。

(8) 高病原性鳥インフルエンザに関する処理業務（県委託事業）

茨城県から、高病原性鳥インフルエンザ農場防疫業務及び焼却処理業務の委託を受け、会員企業の協力を得て実施しました。

- ・ 4 月 八千代町
- ・ 11 月 笠間市

(9) 災害廃棄物処理事業

6月2日からの梅雨前線による大雨及び台風 2 号により水害が発生し、県との災害協定に基づき取手市及び銚田市から協会が災害廃棄物の処理を受託しました。会員企業の協力により処理を完了しました。

9月8日、台風 13 号による水害が発生し、県との災害協定に基づき日立市及び高萩市から協会が災害廃棄物の処理を受託しました。会員企業の協力

により処理を完了しました。

(10) 関連事業

ア 全産連及び協会表彰事業

(ア) 全産連の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 1名
- ・ 地方功労者 3名
- ・ 優良事業所 1事業所
- ・ 地方優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 4名

(イ) 茨城県産業資源循環協会の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 3名
- ・ 優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 16名

イ 国及び県表彰の推薦

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰及び茨城県環境保全功労者表彰における表彰者の推薦を行いました。

- ・ 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 1名
- ・ 茨城県環境保全功労者表彰 1名
- ・ 茨城県不法投棄防止功労者表彰 1名

ウ 不法投棄廃棄物ボランティア事業

行政をはじめ多くの方々の参加・協力をいただき、不法投棄廃棄物の撤去を実施し、不法投棄撲滅の意識啓発に寄与しました。

- ・ 県央支部 (3月2日、小美玉市)
- ・ 県北支部 (3月5日、常陸大宮市)
- ・ 県南支部 (12月9日、石岡市)
- ・ 県西支部 (12月9日、桜川市)